

成果の説明書

(氏名) 中村 彰良	(学部) 経済学部
1 重要事項 研究 市場参加者が企業についてのニュースを察知しているかどうかを検討するためのテキストデータについて、ここ数年検討してきたが、望ましいデータソースはまだ見つかっていない。 管理会計の分野において、海外では、管理会計担当者が予算の記録、分析だけでなく、戦略の指揮にかかわるような役割変化が観察されているようである。一方、日本企業では、管理会計担当者が、経理部門や経営企画部門に分かれて存在している場合も多いことが、海外企業のような役割変化を阻害している要因の一つであるということを認識するに至った。管理会計にかかわる組織要因と管理会計担当者の役割などに関する文献をもとにして、この問題を検討している。 教育 昨年度執筆した全経簿記上級問題集（担当は 6 つのトピック）について、校正等を経て、2024 年 5 月に『全経簿記標準問題集 上級 原価計算・管理会計』として中央経済社から発行された。 大学院の管理会計研究の授業について、2 年続けて受講者がいたので、過去に使った資料の見直しを行った。 簿記と管理会計の授業については、例年と同様に、使用するプリントについて若干の見直しを行った。 演習Ⅱについては、ゼミ生の提出した論文に目を通した。	
2 その他の事項 日本会計研究学会 第 83 回大会に参加した。	
3 次年度以降の計画・抱負 研究面では、継続して、適切なテキストデータを入手できないか検討したい。また、管理会計分野では、管理会計にかかわる組織要因と管理会計担当者の役割だけでなく、組織のパフォーマンスとの関係にも興味があるので、文献等で引き続き検討したい。 教育面では、紙の手形や小切手がなくなることについて注目しているが、今年度の簿記検定の教科書においても見直しはなかった。引き続き検討したい。	